

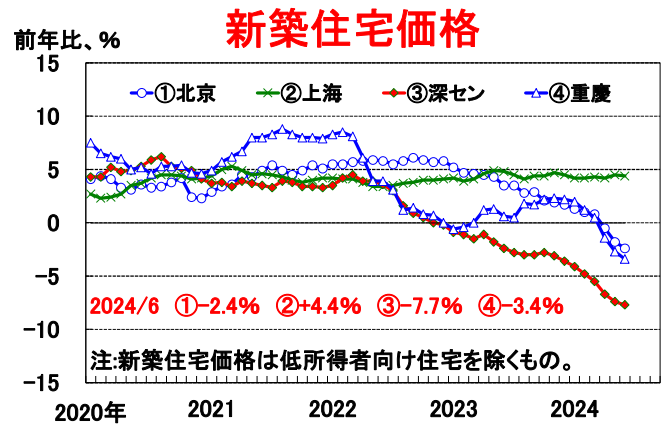
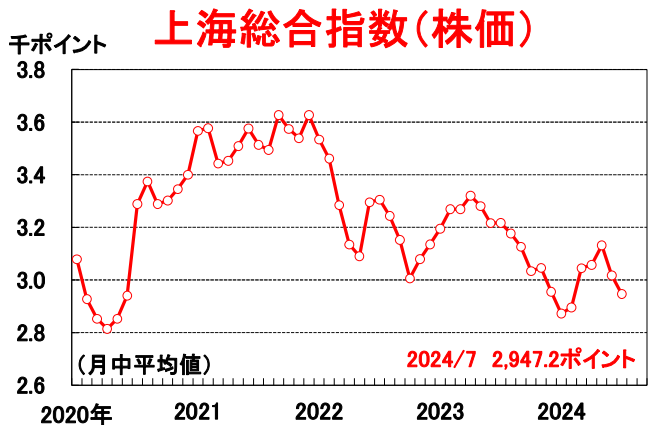
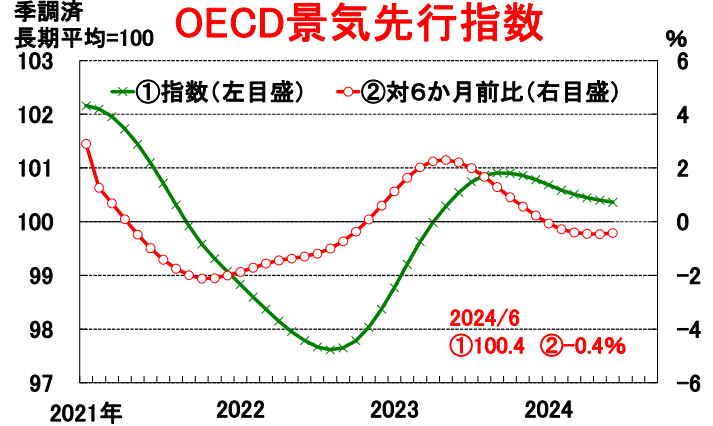
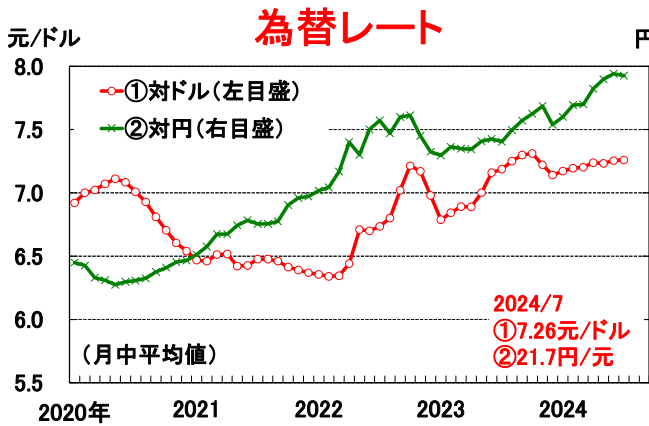
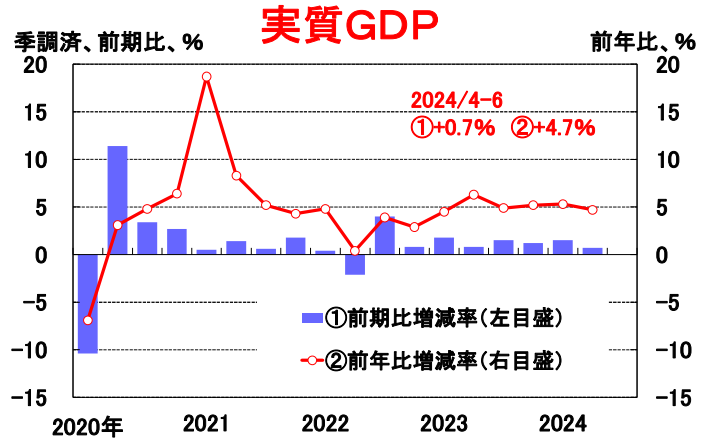
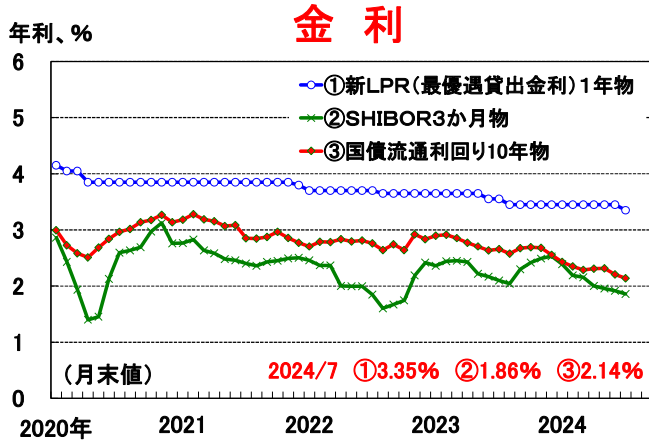
グラフで見る中国経済 2024年8月号(No. 183)

2024年4～6月期の実質GDPは前年比+4.7%と、前期(同+5.3%)に比べて成長率が低下した。内訳をみると、輸出が高付加価値品を中心に改善したものの、個人消費は住宅価格の下落に伴う逆資産効果などから減速し、また固定資産投資も不動産投資の大幅減などから増勢が弱まった。直近の月次指標をみても、景気回復の足取りは依然として鈍い。6月の鉱工業生産は前年比+5.3%と前月に比べて増勢が弱まった。続く7月の製造業PMIは49.4と前月(49.5)を下回り、製造業の景況感が悪化していることが示された。

【足元の景気判断】

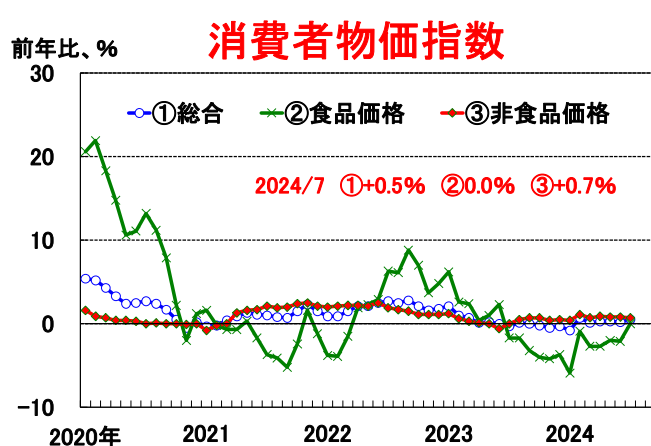
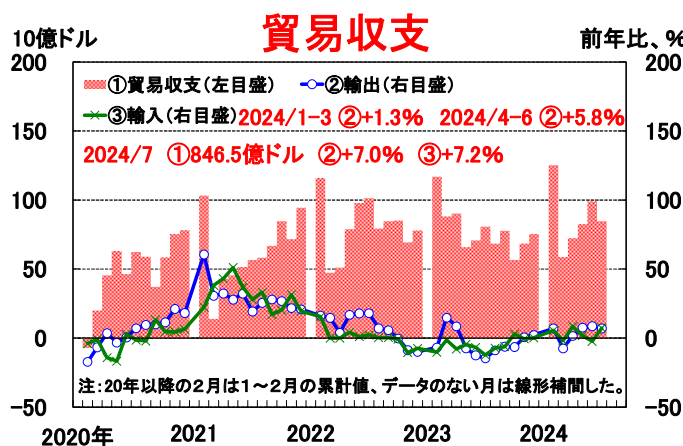
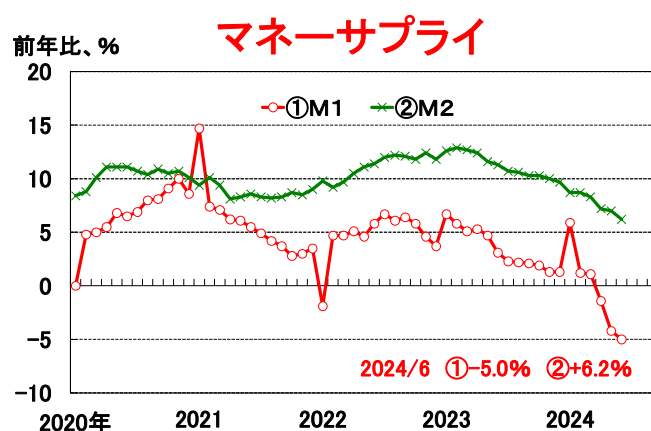
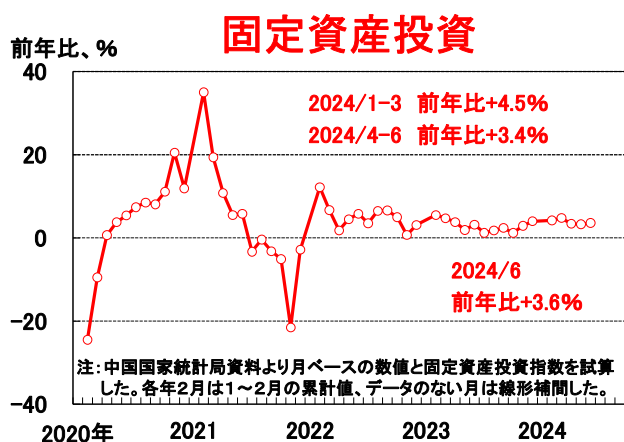
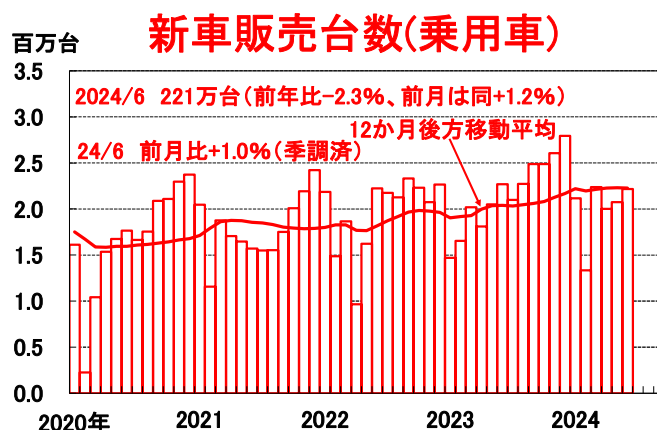
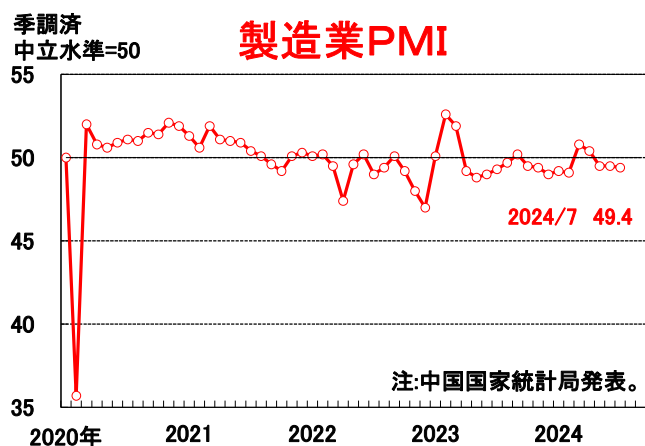
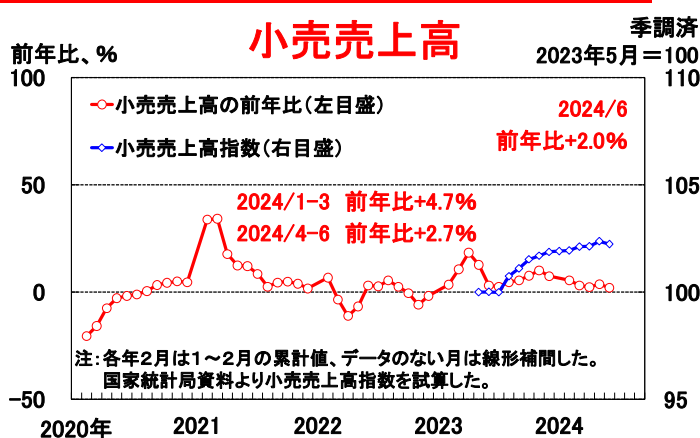
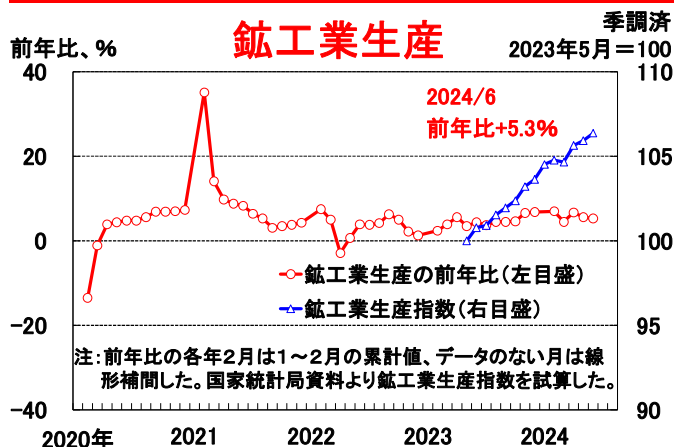
指標	景気全般	輸出	固定資産投資	小売売上高	鉱工業生産	製造業PMI
判断結果						

(注) 矢印は概ね3か月前との比較。青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化を、白の矢印は横ばいを表している。



(出所) 中国人民銀行、中国国家统计局、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) 中国国家统计局、中国海関総署、中国商務部、中国汽车工业协会、中国物流購買連合会、中国人民銀行、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。